

1/22 3期

介護保険見直し

利用料2倍なら退所13% 利用中止・減らす34%

民医連調査

全日本民医連医療機関連合会(全日本民医連)は21日、介護保険見直しに関して全日本民医連が行った緊急影響調査の結果速報を公表しました。

調査は、厚生労働省が介護保険制度を全面見直し、利用料(現行の2倍化)になった場合、本人が負担して自由配職では「いかなる

料の負担増の対象者を拡大しようとしていることに対し、施設入所者と在宅サービス利用者を対象に、9月中旬から10月にかけて実施しました。施設入所者では、51.4%の人が回答。利用料が2割負担(現行の2倍化)になると回答した人の中

「今までどおり入所を続ける」が37.9%だったのに対し、家族の援助が可能で「今までどおり入所を続ける」が31.5%、「施設を退所、もしくは退所を検討する」が13.0%でした。

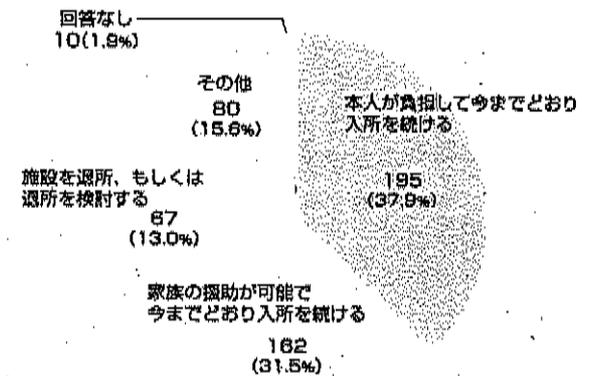
本人の負担で入所を続ける」と回答した人の割合は「いかなる

介護保険・利用料負担の見直し案に対する緊急影響調査結果に関する記者発表



調査結果について公表する全日本民医連の林藤事務局長(左)と、厚生労働省

利用料が2割負担(2倍化)になった場合の施設の利用について



全日本民医連「介護保険・利用料負担の見直し案に対する緊急影響調査結果について」公表資料から作成

割(2倍)になるのは負担が大変だ」「2割負担だと在宅サービスに頼る負担が増えるのではないか心配です」などの懸念の声を上げています。在宅サービスの利用者は、1097人が回答。利用料が2割負担になった場合、本人の負担で「今までどおり入所を続ける」が57.1%だったのに対し、家族の援助が可能で「今までどおり入所を続ける」が34.4%、「施設を退所、もしくは退所を検討する」が13.0%でした。

この日、全日本民医連は厚生労働省で会見し、林藤事務局長が、利用料の増額について「利用料引き上げ案の検討中止・撤回を求める」と強く訴えました。